

【二月の言葉（令和四年）】

欲の少ない人は苦勞も少ない。

欲の多い人ほど苦勞も多い。

人生をジャンケンに例えると、グー✊で始まりパー✋で終わる。と言えます。赤ちゃんは拳こぶしを握りしめて（✊）誕生します。赤ちゃんの握力はとても強いそうで、一度しっかり握ったたら、二度と手放したくないのは、生まれついでの人間の性分なのかもしれません。そして成長するにつれ、「これは自分のもの」と呼べるものを増やすことに喜びを感じるようになります。しかし、いざ死ぬ段になれば、何一つ持っては死ねません（✋）。財産・名誉・家族・友人・健康・仕事・趣味……、大切に思ってきたものの全部を置き去りにしなければならぬのですから。多くに囲まれ、多くに満たされ、多くを抱えてきた者ほど、その喪失感と虚無感は計りしれないのではないのでしょうか。

「胃酸過多」は、胃炎や胃潰瘍を起こす原因となり用心すべきですが、「遺産過多」も、余計な争いを招く原因となりやすいので、特別な注意が必要です。骨肉の争いの原因を残すぐらいなら、いつそのこと何も残さないのも賢明な選択肢かもしれません。